

トピックス 1 相次ぐ災害への対応

① 令和 6 年能登半島地震等からの復旧への対応

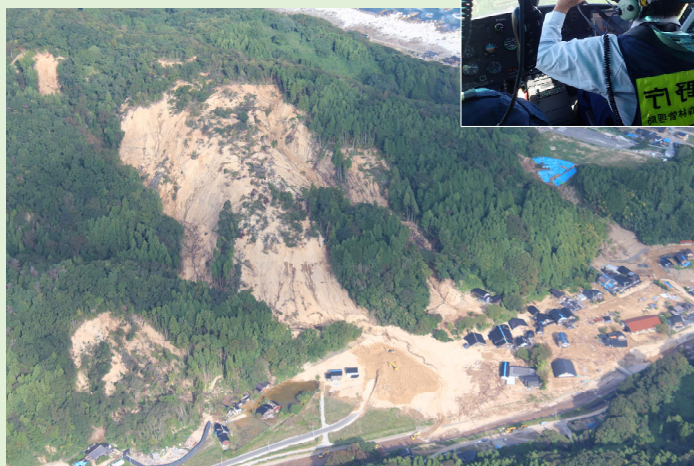
令和 6 (2024) 年 1 月 1 日に発生した令和 6 年能登半島地震では、最大震度 7 を記録し、奥能登地域を中心に甚大な被害が発生しました。

近畿中国森林管理局では、発災翌日にヘリコプター調査を実施するなど、山地災害の全容の早期把握に努めました。

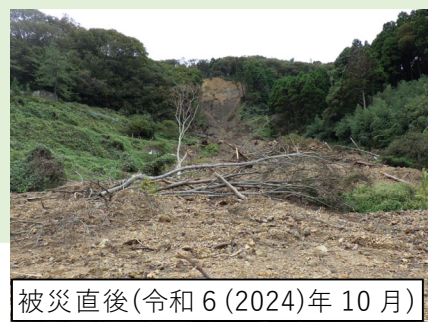
また、輪島市及び珠洲市の民有林に生じた大規模な山腹崩壊箇所等について、石川県に代わって直接、災害復旧等事業を実施しました。これらの災害復旧等事業に引き続き、継続的な復旧を進めるため、両市の民有林 6 区域について 10 年間を復旧期間として、民有林直轄治山事業に着手しました。

このような中、同年 9 月 20 日から石川県能登地方を中心に記録的な豪雨が発生しました。同局では、9 月 24 日に石川県と連携してヘリコプター調査を実施し、山腹崩壊地の拡大や不安定土砂の流出など、被害状況の把握を行いました。これらの調査を踏まえ、着手済の民有林直轄治山事業 6 区域内の 10 か所において、応急対策を実施しました。また、地表面伸縮計や雨量計等の観測機器を設置し、そのデータを輪島市等とリアルタイムに共有を図っています。

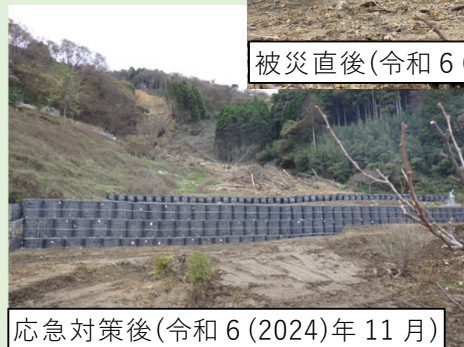
引き続き、関係機関と連携し、地震・豪雨と相次いだ災害からの早期復旧に全力で取り組んでいきます。



豪雨による土砂流出
(令和 6(2024)年 9 月 石川県珠洲市 民有林)



被災直後(令和 6 (2024) 年 10 月)



応急対策後(令和 6 (2024) 年 11 月)

土砂流出箇所の応急対策
(石川県珠洲市 民有林)

② 相次いだ大規模な林野火災への対応

林野庁では、森林パトロール等の山火事予防運動に取り組んでいますが、令和 7(2025)年 2 月から 3 月にかけて、全国各地で大規模な林野火災が相次いで発生しました。岩手県大船渡市の民有林で発生した林野火災では、焼損面積が 3,400ha(調査中)に及び、過去 60 年で最大の林野火災となりました。また、愛媛県今治市及び西条市での林野火災では、焼損面積 482ha に及び、国有林も 120ha の被害を受けました。

東北森林管理局及び四国森林管理局では、焼損の程度や被害範囲を把握し、迅速な復旧計画の策定につなげるため、ヘリコプターやドローン^{*}等も活用した現地調査を県や関係機関と連携して実施しました。

また、四国森林管理局では、植生消失等により早急に土砂流出防止対策を実施する必要がある渓流において、応急対策を実施しており、国有林野内直轄治山災害関連緊急事業の実施に向けての準備も進めています。

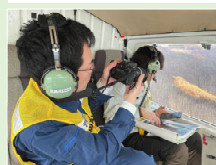
林野庁では、消防庁と共同で「大船渡市林野火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会」を開催しており、国有林においても、検討結果を踏まえた林野の火災予防に取り組んでいきます。

■ 令和 7(2025)年に発生した焼損面積が 100ha 以上の林野火災(令和 7(2025)年 7 月時点)

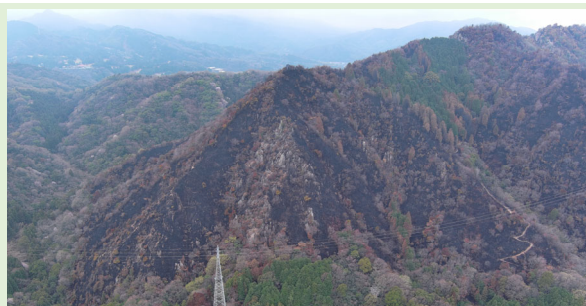
発生日	発生場所	焼損面積
2 月 19 日・26 日	岩手県大船渡市	3,400ha
2 月 26 日	山梨県大月市	107ha
3 月 23 日	岡山県岡山市	486ha
3 月 23 日	愛媛県今治市・西条市	482ha
3 月 23 日	熊本県南阿蘇村	220ha

注 1：岩手県大船渡市及び山梨県大月市の焼損面積には、水源林造成事業地を含む。(21.4a、0.4ha)

2：愛媛県今治市・西条市の焼損面積には、国有林を含む。(120ha)



ヘリ調査で確認された被災箇所
(令和 7(2025)年 3 月 岩手県大船渡市 民有林)



ドローン調査で確認された被災箇所
えいのうさん
(令和 7(2025)年 4 月 愛媛県西条市 永納山国有林)

大船渡市林野火災への対応状況について

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/attach/pdf/0418-8.pdf>

